

高倉だより

～令和3年度 前半学校評価結果をお知らせします～

毎年、年度の前半・後半に一度ずつ、学校評価アンケートを実施し、学校評価の大切な指標として皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めています。前半評価は、教育年間計画に沿った教育活動の実践の中間点検にあたります。

令和3年度 前半学校評価の取組

今年度も、評価項目については、年度当初にお配りした「高倉小の教育」リーフレットの各ページにある「評価のポイント」をもとに設定しました。それは、昨年度からの経年変化もみていきたいと考えたからです。なお、今年度もスマイル評価部会による検討会におきまして、質問項目の検討や結果の分析を行いました。



評価特集号

令和3年12月1日

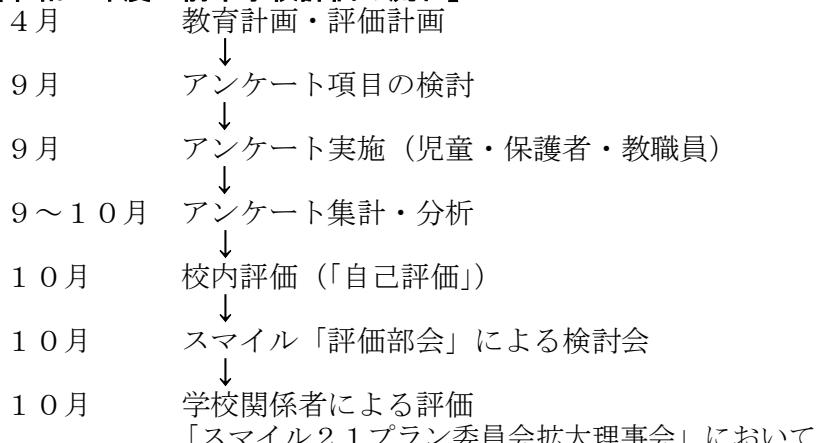
京都市立高倉小学校

学校教育目標

よりよい生き方を求めて、誇りをもち、未来にはばたく高倉の子

豊かに学び、表現し、高め合う姿をめざして～

【令和3年度 前半学校評価の流れ】



評価項目と集計結果（R2後半との比較）

プラス評価 ※ 95%以上 ◎ 90% ○ 80~90% 80%未満は数字

R2後半

<確かに育む教育>			
	児童	保護者	教職員
① 学校の勉強がよくわかる	※	○	◎
② 自分の思いや考えをすすんで伝え合う	○	○	※
③ 家庭での読書	74.5%	63.1%	73.5%
④ 家庭学習	※	◎	※
⑤ 最後までやりぬく	◎	○	※
⑥ 見通しをもって学習（学習予定表の活用）	○	63.9%	※
⑦ 授業中の約束守って、集中して	◎	◎	※

3%以上上界 3%以上下界

R3前半

	児童	保護者	教職員
① 学校の勉強がよくわかる	◎	○	※
② 自分の思いや考えをすすんで伝え合う	○	○	※
③ 家庭での読書	78.3%	66.5%	○
④ 家庭学習	※	◎	※
⑤ 最後までやりぬく	※	◎	※
⑥ 見通しをもって学習（学習予定表の活用）	◎	66.7%	○
⑦ 授業中の約束守って、集中して	◎	※	○

▶ 5分野 21項目

▶ 4段階評価 (そう思う・だいたいそう思う…プラス評価)

あまりそう思わない・そう思わない…マイナス評価)

全体として

ほとんどの項目でプラス評価となっている。

昨年度（後半）と比較すると、児童の項目では、上昇している項目が増えている。一部「マイナス評価」が見られたので、今後の改善策について校内やスマイル評価部会・拡大理事会でも検討しています。

家庭での読書については、児童、保護者、教職員とも上昇傾向が見られた。⑥⑦の項目については、教職員で3%以上の下降が見られました。

豊かさ・たくましさを育む教育については、どの項目でも好評価でした。

挨拶については、児童の自己評価は9割を超える好評価です。しかしながら、地域の皆様からは、登下校中のあいさつ等についてはもう少し課題があるとの意見もいただいているです。

外遊びについては、若干上昇傾向にありますが、まだ8割には満たない結果です。食事については、コロナ禍のため黙食による給食指導の影響もあり、教職員の評価が、大きく下がっています。

先生に相談することについては、昨年度よりも児童・教職員とともに、上昇傾向が見られました。

<豊かさ・たくましさを育む教育>

児童 保護者 教職員

	児童	保護者	教職員
① 学校生活が楽しい・安心	◎	※	※
② 思いやりのある温かい言葉づかい	○	○	※
③ 友達と大切にし合う	※	※	※
④ 学校の決まりを守って行動	◎	○	○
⑤ 放課後・休みの日ルールを守る	※	※	※
⑥ 学校・家・地域でのあいさつ	◎	○	○

児童 保護者 教職員

<健やかな心と体を育む教育>

児童 保護者 教職員

	児童	保護者	教職員
① すすんで外遊び	78.5%	69.4%	○
② 食事の好き嫌いなく楽しく	○	78.6%	◎
③ 朝ご飯	◎	○	△
④ 安全な登下校	※	※	◎
⑤ 自分の心や体を大切に	◎	○	※

児童 保護者 教職員

<高倉小の特色ある教育>

児童 保護者 教職員

	児童	保護者	教職員
① 地域学習・伝統文化の学習に興味をもって	○	77.2%	◎
① 先生に話をしたり相談したり	75.1%	△	◎
② おうちの人と話をしたり相談したり	◎	○	△

児童 保護者 教職員

学校評価前半アンケート結果より

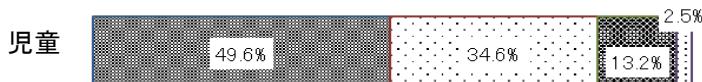
■ そうおもう

□ だいたいそうおもう

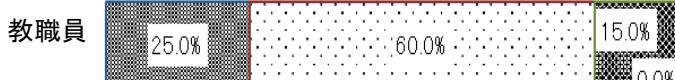
■ あまりそうおもわない □ そうおもわない

確かに育む教育について

Q. 自分が思ったことや考えたことをすすんで伝えていますか。



Q. 家で読書を楽しんでいますか。



自分の思いや考えをすすんで伝え合えているかの項目ではプラス評価が、児童84%，保護者85%とやや低い評価となっています。本校児童の課題として、自分の考えを根拠をもって相手にわかりやすく話したり、話の中心を明確にしてわかりやすく伝えたりする「話す力」があげられます。昨年度よりこの対話する力に重点を置きながら授業改善に取り組んでいます。子どもたちの「話す力」は、少しづつではありますが付いてきています。毎日の地道な取組を全学級で実施していきます。



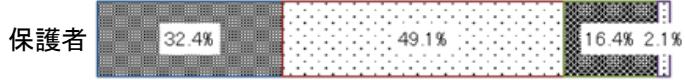
読書については、今回も他の項目に比べると低い評価となっていますが、3者とも上昇しています。日頃の学校での取組、スマイル21プラン委員会での取組、PTA図書室と歩む会の取組などをきっかけにして、読書への意識が少しづつ高まってきています。「家庭読書の習慣化は、地道な取組を積み重ねていくしかない。」「家庭環境の影響が大きい。親が本を読む姿を見せることが大切だ。」といった声もいただきました。また、子どもたちの意識に問いかけるためにも、児童の家庭読書の実態調査なども今後検討して、取組を進めたいと思います。

スマイル21プラン委員会「読解部会」では、今年度は、2年ぶりに1・3・5年生で選書会を実施していただきました。PTAの「図書室と歩む会」では、今年度も、図書館の環境整備に加え、感染症予防のための消毒作業等にも取り組んでいただいている。11月には読書月間として「本の福袋」の取組や図書委員の子ども達のビデオによる読み聞かせ会を行いました。



豊かさ・たくましさを育む教育について

Q. 学校や家、地域ですすんであいさつができるですか。



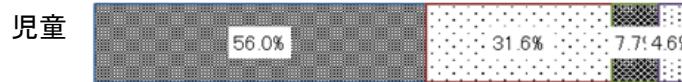
「あいさつ」については、子どもたちの自己評価は以前に比べると高い評価となっています。校内での児童会の取組として、昨年度から上の学年と下の学年が一緒に行う朝の「なかよしあいさつリレー」を実施しています。取組を始めた頃は、控えめだった子もいましたが、毎日の取組にすることで挨拶が日常化するようになった子たちも見られました。しかし、学校関係者や地域の皆様からは、「地域での様子をみると、まだまだできていない。街角でいつも見守り活動をしていただいている地域の方々には、元気に挨拶ができるような子どもたちがもっと増えてくれるとうれしい。」といったお声もいただいております。

学校では、もっとより気持ちのよいあいさつができる高倉小学校の子どもたちになってもらうために今後も学校をあげてあいさつ運動に取り組んでいくとともに、学校を出でから挨拶の意識ももてるように、教職員の声かけを続けていきたいと思います。



健やかな心と体を育む教育について

Q. 好ききらいなく、給食を楽しんでいますか。



学力だけでなく、体力向上や食・健康への意識も大切です。



「食事」の項目では、教職員のプラス評価が大きく下降する結果となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、黙食を基本とした給食指導をしているため、以前のように楽しい雰囲気の給食時間ではなくになっている現状があります。しかしながら、1学期に比べると2学期は残菜・残飯ともに減少し、しっかり食べができるようになっている感じます。黙々と残さずに食べ切ろうとする子ども確実に増えてきています。学校関係者評価でも「学校と家庭が連携を図りながら食に対する意識を高めていきたい。」「音楽や映像を流すなどコロナ禍の中でできることを模索していきたい。」という声をいただきました。コロナ禍の中ですが、少しでも楽しい給食時間にするための工夫を検討し、できることを実施していきたいと思います。

自由記述のご意見

今回の学校評価アンケートでの自由記述欄のご意見・ご感想の一部を紹介させていただきます。

- 学校が大好きで毎日楽しく通っています。先生や友達の話を笑顔で聞かせてくれるので安心して過ごしています。ありがとうございます。
- 先生の子どもへのご指導がとても熱心で手厚く、子どもの目線に合わせて接していただいてとても感謝しています。一つ一つの変化を見逃さず見守っていただきたいです。
- コロナ禍で学校運営も大変な中、我が子が楽しく学校に行けていることに感謝しています。
- 色々な事に挑戦している姿を嬉しく思っています。ありがとうございます。
- 言葉使いをもう少し指導していただきたいです。
- 登下校の様子を見ていると不安を感じことがあります。路上駐車の多さもすごく気になります。
- 授業参観は一日中ではなかったため、仕事の関係上一度も子どもの様子を見ることができていません。残念です。コロナ禍なので、仕方がないですが。

たくさんのご意見ありがとうございます。いただいたご意見を今後の高倉教育に生かしていきたいと思います。



学校・家庭・地域、三者で子どもたちの豊かな育ちの実現を！